



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第436号

## 地区集会での声を受けて ①

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

先日、アベイヤ司教様の呼びかけにより、“福岡教区創立100周年（2027年7月16日）とその先の教会生活への具体的な歩み”が始まりました。アベイヤ司教様が言われているように、2022年4月に「宣教司牧方針」が出されましたが、その内容を参照にすることで具体的な歩みが深まっていくことは明らかです。福岡教区、北九州地区からはもちろんのことですが、主任司祭としても、小教区委員会としても、具体的な動きを提案していくこととなりますので、ご協力をよろしく願いいたします。さて、7月の小教区委員会において、とある地区集会での報告がなされました。“100周年とその先の教会生活への具体的な歩み”の一つに、地区集会での報告に関する応答も加えることができると思いますので、今後、主任司祭として「からしだね」において載せるようにいたします（主任司祭が答えるべき内容に関してのみ）。全信徒に向けた応答として受けとめていただくようお願いいたします。

### ①、ミサ依頼における質問と要望に関して（概要）

カレンダーが埋まっており、命日、もしくは命日に近い日にミサを依頼しようと思ってもできない場合がある。そもそもカトリックには命日があるのか。そして、平日に親戚が集まってミサにあずかることがほぼできないため、日曜日（主日）に捧げていただくのが望ましい。

・以前、お伝えしたように、主日（日曜日）と主の降誕（12/25）、神の母聖マリア（1/1）の守るべき祝日には「自己に委ねられた民のためのミサ」という意向で捧げなければならないため、個別の意向でミサを捧げることはできません。つまり、各自の意向のみでミサを捧げることができるのは上記以外の日となっています。ただし、同日に複数の意向があっても構いませんので、今後、複数の意向を書けるようにカレ

|              |      |
|--------------|------|
| レプトン会からのお知らせ | 3面   |
| 教会学校のページ     | 4面   |
| 幼稚園から        | 5面   |
| 推薦図書のお知らせ    | 6面   |
| 委員会等報告       | 7・8面 |
| お知らせ         | 8面   |

ンダーを作り直すことにいたします(司祭は一日につき、一つの意向分の奉納金を受け取れます)。

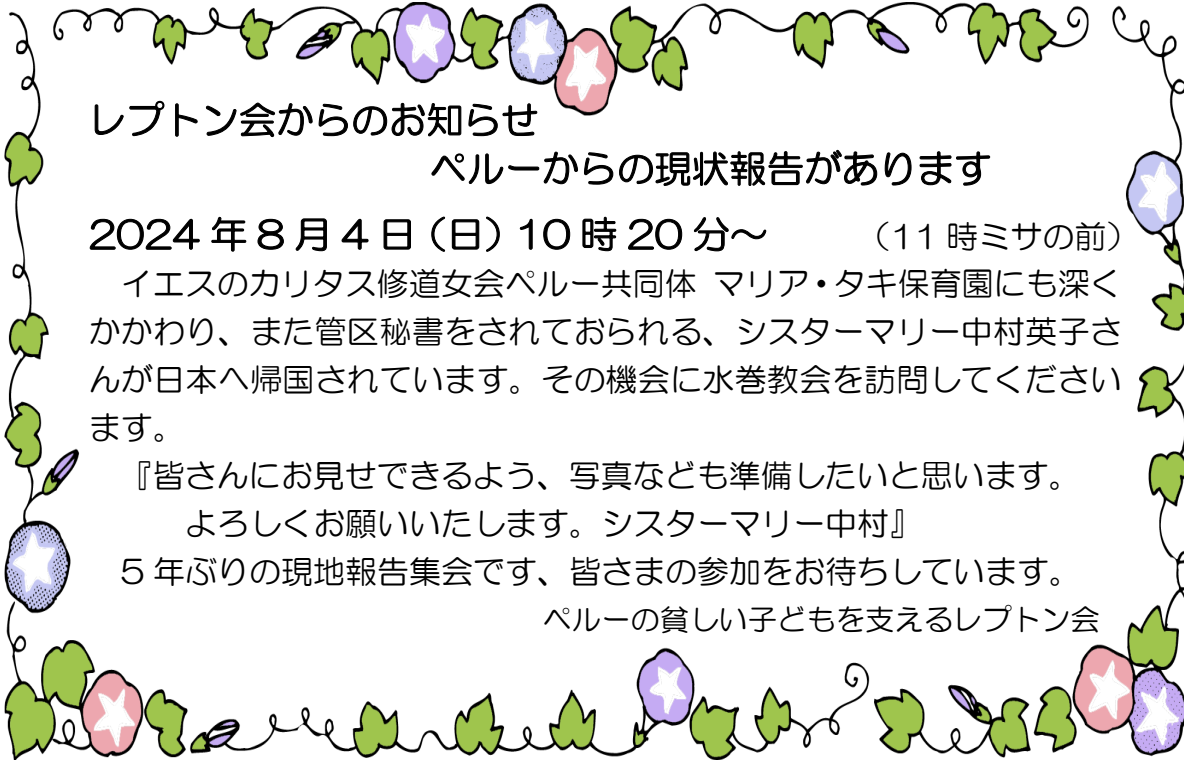
・キリスト教にはいわゆる「命日」はありません(よって「初七日」や「一周忌」などの言葉も使いません)。ただ、亡くなられた人を思い起こして祈ることは当然なことですから、各自の意向を携えてミサに与ることは信徒として相応しいことです。しかし、各自の意向のみでミサを捧げたいと望む場合には、上記以外の日に捧げることになります。そのためにも、主日のミサに参列していただくようお願いいたします。なぜなら、主日は「自己に委ねられた民のため」、つまり「小教区に関わるすべての人のため」という意向で捧げられているため、各自が意向を携えてミサを捧げていることに他ならないからです。「主日」は“キリストが復活した日”という意味なので、仮に信者が「命日」を思い浮かべるならば、“死に打ち勝つ復活にあずかる日”との意味において「主日」がそれにあたるのです。一週間の始まりの日が「命日」。主日のミサに与ることには深い意味があるのです。よって、主日のミサに与ることができる場合、奉納金を携える必要はありません。そもそも、ミサを依頼する際に封筒に入れていただいている金銭は司祭の司牧生活を支えるために捧げられる奉納金であり、ミサの代金ではありません。平日に集まることができないからこそ、各主日における「小教区に関わるすべての人のため」という意向のなかに各自の意向を加えて共にミサに与りませんか。

## ②、臨時の聖体奉仕者の奉仕について(概要)

以前、臨時の聖体奉仕者が聖体拝領の時間に奉仕していたが今はいない。主任司祭が水巻教会と直方教会を兼任していて大変そうなので、再度、奉仕をしていただくことはできないのだろうか。また、集会祭儀の導入も視野に入れてはどうか。

・ご心配、ありがとうございます。昨今、福岡教区では司祭不足が顕著なため、兼任しなければならぬ状況が当然となりつつあります。水巻教会に赴任した際には正直、まだ実感はありませんでした。今は、兼任することに早く慣れるべく、日曜日にすべてのことが集中してしまわないようにするためにはどうしたらいいのかを模索中です。ですから、今のところ大丈夫です。さて、まず臨時の聖体奉仕者についてですが、現在、聖体拝領が長時間かかってしまっている状況ではないため、導入は考えていません。さらに、正式な臨時の聖体奉仕者として任命を受けるためには、まず主任司祭の推薦状、そして養成講座を受けたうえで司教の承認を受ける必要があります。そして、その奉仕者として定期的に養成講座を受け、更新されなければなりません。ただし、例えば、ある日のミサにおいて司祭が臨時の聖体奉仕者の奉仕を望むのであれば、口頭で任命できるため、どうしても奉仕が必要な場合には司祭の一存で行われる場合もあります(普通、修道者が参列していればその方をお願いすることになります)。

・集会祭儀の導入について。このことについては、現在、司教と司祭間で議論が続けられています。実際、離島にある、教会間の距離が長い、司祭が高齢などの理由で真剣に考えなければならない現場が存在するからです。ただし、それらの現場と水巻教会や直方教会とはまったく異なります。よって、現時点で水巻教会や直方教会では集会祭儀を導入することは想定していません。しかし、今後、将来に向けた取り組みとして小教区同士での相互理解のために集会祭儀についての学びの場や実践する機会を作るようにとの指針が出される可能性はあります。ただし、間違っってはならないことがあります。それは“集会祭儀はミサの代わりではない”ということです。ご聖体を拝領する祭儀であるように理解されているからこそ、どこかミサの代わりであるかのように誤解されてしまっているようですが、ミサの代わりになるものなどあるはずがありません。集会祭儀について学ぶ前にミサについて学ぶ必要がありますし、ミサに与る正しい姿勢も必要となります。そもそも、聖体拝領がなくとも集会祭儀と呼べるのです（だからこそ、みことばの祭儀による葬儀は司祭が不在でも行うことができるのです）。信徒数に限らず、司祭数も少なくなってきたからこそ、どうしたらミサに与ることができるのかを考えましょう。そしてミサから離れている人たち、特に家族の皆さんとミサに与る喜びを分かち合いましょう。自分の足でミサに来ることができなくなったのであれば、ご家族に連れて来てもらい、その方々とともにミサに与ることができます。そして、ミサについての感覚が深まれば、どうして司祭がご聖体を持参して手元に届けたいのかについても理解できるはずです。この教会では、集会祭儀の導入について考える前に、まず考えなければならないことがあるということです。



## レプトン会からのお知らせ

### ペルーからの現状報告があります

2024年8月4日(日)10時20分～ (11時ミサの前)

イエスのカリタス修道女会ペルー共同体 マリア・タキ保育園にも深くかわり、また管区秘書をされておられる、シスターマリー中村英子さんが日本へ帰国されています。その機会に水巻教会を訪問してください。

『皆さんにお見せできるよう、写真なども準備したいと思います。

よろしく願いいたします。シスターマリー中村』

5年ぶりの現地報告集会です、皆さまの参加をお待ちしています。

ペルーの貧しい子どもを支えるレプトン会



## 教会学校のページ



7月20日(土)、直方と合同で教会学校のデイキャンプを行いました。

暑い中プールに入ると水が心地よく、泳いだり水をかけ合ったりいかだをこいだりとおもしろい楽しむことができました。また、プールで遊ぶ最中ペットボトルロケットを披露していただきました。プールの端のフェンスを越えグラウンドまで飛ぶロケットにはとても驚きました。

お昼には直方教会に移動し、お昼ご飯を頂きました。

お昼を食べ終わると、自由時間となりました。直方教会の子ども達と共に一緒に遊ぶことができました。

16時には直方教会のお御堂でお祈りをし、ベトナムから来た神学生の紹介をしていただきました。彼らは福岡教区で司祭となることを目標に勉強しています。彼らが神父になり福岡で活動する姿を見るのがとても楽しみです！

夕方には直方教会のお御堂の前でバーベキューをしました。おいしいお肉に思わず舌鼓。大人も子供も幸せなひと時となりました。

最後には遠賀川の河川敷で花火をして解散となりました。

きれいな花火は夏の風物詩。子どもにとっても大人にとっても楽しい思い出となりました。直方との合同の活動、今後ももっと増えて交流が深まっていくととてもうれしいですね。





## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 8月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### 〈水巻聖母幼稚園〉

7月12日に夏祭りがありました。今年の夏祭りは例年と違って、子ども達のみで行いました。各クラスで何のゲームをしたいか、それをするには何が必要か子ども達と一緒に話し合っ



合って決めました。看板の準備をしたり、部屋を広げるために年長児がリーダーになって机を運んでくれたり、部屋の

装飾もしました。給食は、ホールでブルーシートを敷いてみんなで一緒に食べました。ゲームや製作、スタンプラリーをしながらとても楽しい一日を過ごせて、たくさんの笑顔が見られた一日になりました。



TEL : 093 201 9559 e-mail :

[coutactus@mizumakiseibo.ed.jp](mailto:coutactus@mizumakiseibo.ed.jp)

### 〈マリア子どもの家〉



7月5日(金)に、『七夕祭り』をしました。三角つなぎや星飾りを作り、ご家庭で短冊に願い事を書いていただき、笹に結びました。みんなで歌った「笹の葉サ〜ラサラ」の歌声が、空まで届いたでしょうか。「大きな怪我や病気をせず元気で過ごせますように。」「おいしいご飯がいっぱい食べられますように。」等の、一人ひとりの願いが叶いますように！

また、暑くて園庭での外遊びが難しくなった頃の7月13日から水遊びを始めました。大雨の日もありましたが、雨の合間に水遊びを楽しみました。タライに水を入れて、水車を回したり、水鉄砲をしたり。月齢の低い児は、タライの水を繰り返しばケツに移したりしていました。ジョウロやバケツで、テラスの朝顔に水をあげたりなどもしています。



水遊びをしながら暑い夏を乗り切りたいと思います。

TEL : 050 5212 7759

[https : www.mariahouseofchildren.jp](https://www.mariahouseofchildren.jp)

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

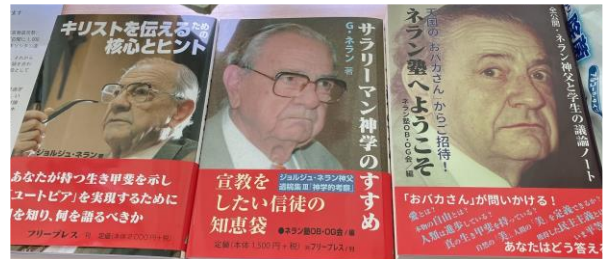
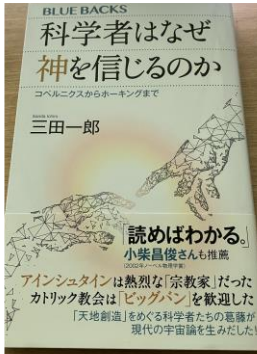
園長 水口 由美

教職員 一同

## 推薦図書のお知らせ

「とても良い本なので皆さんでぜひ読んでください。」と谷口神父様より寄贈されたのは『科学者はなぜ神を信じるのか』と教皇様の使徒的書簡『わたしはせつに願っていた』です。そして、ネラン塾 OB・OG 会から G・ネラン神父遺稿集三冊が贈呈されました。フランス人 G・ネラン神父は遠藤周作著『おバカさん』のモデルで、新宿でスナックバー「エポペ」を開いてキリスト教にとどまらず数多くの人々の話に耳を傾けた事、多数の著書、活動で知られています。いずれも NEW NEW NEW コーナーに配しました。また「もう読んだから」といただく本も多く、2024年3月末で約800冊の蔵書になりました。この時点での蔵書一覧を作成したのでご覧いただきたいです。また「聖書に親しむ会」では神父様不在時には図書室のビデオやDVDを視聴しています。

図書委員 豊永 真理子



## 委員会等報告 2024年7月分

### 7月度小教区委員会 7月7日

#### 1. 行事予定

- ・8月 4日(日) 11時～ミサ  
ミサの前にレプトン会による支援先の状況についての報告会  
ミサ後～小教区委員会
- ・8月 12日(月) <地区宣教司牧評議会主催 聖書講座(平和の集い)> 10時～11時半、小倉教会にて。
- ・8月 15日(木) <聖母の被昇天> 9時～ミサ
- ・8月 18日(日) 11時～ミサ

18時～ベトナム語ミサ

- ・8月 25日(日) 9時～ミサ  
ミサ後～教会学校、こころの会

#### 2. 議題

- (1) 各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より
- ① 広報委員会
  - ・Wi-Fi 中継機を聖堂内に設置するように準備をしている。

## ②典礼委員会

・8月15日以降で委員会を開く予定。聖歌隊との連携のため、まずは次回の委員会にオルガン奏者の代表者、聖歌を歌うグループの代表者に集まっていただくことになった。7月20日～21日、27日～28日、8月7日は身動きが取れないため、田中敏幸氏に代理をお願いしている。特に訃報の際における対応を皆さんにもお願いしたい。

## ③総務委員会

・8月4日(日)、レプトン会の呼びかけによる支援先の状況報告のため、イエスのカリタス修道女会のシスター中村氏が来られ報告会を行うことになった。普段、ロザリオを唱えている時間に行う。

## ④財務委員会

・教区の資産運用のために預け金を追送金した。水巻教会として計1000万ほどを預けていることになる。

## ⑤堂繕の部

・聖堂の入り口の上部(壁面)にあるツバメの巢の撤去作業、園庭にある教会に関する標柱の整備、新たな水道ホースの購入を行う。

## ⑥納骨堂管理の部

・ミサが行われている間の信徒会館の入り口の扉について。施錠をするのか、しないのか曖昧になっていたため、今後は施錠することにし、ミサ中に訪問される方への配慮として案内板を設置するようにする。

・お盆の時期の納骨堂開放日と開放時間は以下の通り。期間は8月14日～15日、開放時間は9時～12時までとする。なお、15日はミサの終了後～12時までとする。

## ⑦冠婚葬祭の部

・特になし

## ⑧北九州地区宣教司牧評議会

・8月12日(月)9時30分～13時頃、第3回目の地区宣教司牧評議会主催の聖書講座が小倉教会で行われるが、今年は、これが地区の平和の集いとして位置づけられており、子ども達へのプログラムも別途企画されている。申込み者が少ない様子。参加をお願いしたい。参加する方は8月3日までに名前を記入してもらう。

## (2)直方教会&amp;水巻教会 合同巡礼旅行(9月23日)について

・8月16日～17日にかけて数名で下見を行う(おもな訪問地は手取教会と花岡山)。徒歩で花岡山まで巡礼できない方のために車を出して下さるとのこと。

## (3)福岡教区創立100周年に向けての意識づけ、動きについての小教区委員会からの提案

・「宣教司牧方針」を参考にして、各地区集会、各部会、各委員会、各小グループそれぞれが自由に話し合いを行い、100周年とその後に向けての具体的な動きについての報告(これまでの活動の反省点や課題、福岡教区および北九州地区、水巻教会の現状にあった新たな活動案などの報告)。→11月24日(日)王であるキリストの祭日までに。

※各部会、各小グループの代表者は11月24日(日)に開かれる総務委員会に出席してそれぞれの集会での内容を共有する。

※各地区集会で出される意見についての回答が出されないままになっている現状を改

善すべき。出される意見の一つは主任司祭の意向が反映されているため、主任司祭が説明しなければならないもの、もう一つは小教区委員会で説明しなければならないものである。前者に関しては直接、主任司祭の耳に入れるように各地区集会において周知をお願いしたい。⇒個人に対してではなく全体の意見と受けとめ、「からしだね」やミサ後のお知らせなどで説明するようにする。後者は、当月の役員会が開かれる前に提示をお願いしたい。⇒小教区委員会で結論を出すようにする。

※2年前に各自に配布された「宣教司牧方針」

の予備が教区本部にあれば郵送していただく。⇒未来に向けて、教区民としてできること、北九州地区の小教区としてできること、各自としてできることの自覚をあらためて促す。

#### (4) その他

・ミサ後の清掃について。協力している様子が次第に見て取れるようになってきた。より効率的な清掃作業のために購入が検討されていたコードレス掃除機だが、祭壇まわりのちょっとした清掃のためにもひとまず一台、購入することにする。



#### ★特別献金★

6月23日 聖ペトロ使徒座への献金  
18,751円  
ご協力、ありがとうございました。

#### ★支援募金★

3月31日～6月23日までに集まりました募金について、第3回目の送金を行いました。

|        |         |
|--------|---------|
| 能登地震支援 | 51,227円 |
| ガザ人道支援 | 54,793円 |

ご協力、ありがとうございました。募金箱は引き続き設置しますので、よろしくお願いいたします。

#### ★聖母の被昇天ミサ★

日 時：8月15日(木) 9時00分～

#### ★レプトン会 報告会★

日 時：8月4日(日) 10時40分～  
イエスのカリタス修道女会のシスター中村氏が来られて、ペルーの実情の報告会があります。詳しくは3ページをご覧ください。

#### ★盆期間の納骨堂開放について★

日 時：8月14日(水)  
9時00分～12時  
8月15日(木)  
ミサ終了後～12時

人-ひと

【転入】ようこそ！水巻へ

◇池田 竹一さん

神奈川県より芦屋地区へ